

学芸会 (10月26日)

「がくげいかい、がんばったよ」

一年 かとう りおん

はじめてのがくげいかい、はずかしかったけど、大きなこえでがんばりました。ハンドベルは、むずかしかったけれど、ほんばんはじょうずにできました。らいねんもたのしみです。

「きんちようした学芸会」

二年 南 いまき

ぼくは、学芸会のとぎとでもきんちようしてました。でも、どうさとかをうまくできてよかったです。この日のためにたくさんれんしゅうしてきたので、げぎや歌が上手にできてよかったです。思いました。

「ドキドキした学芸会」

三年 中島 通希

「ときそば」のげきは、おもしろい話でせりふも長く、おぼえるのがたいへんでした。本番はきんちようしたけれど、みんなががんばって楽しくできました。これからも三年のみんなで協力し合っているいろいろなことにちようせんしたいです。

「がんばった学芸会」

四年 大山 実和

私は、学芸会で「空気がなくなる日」をやりました。最初は、せりふをおぼえられず、下見でもまちがえてしまいました。それから、たくさん練習をしました。本番では、完ぺきにできたのでよかったです。

「きんちようのほくし方」

五年 阿部 桃華

五年生のげきは「寿限無」でした。本番になって、きんちようをほぐすために「観客をじやがいもだと思えばいいんだ」と思いました。さらに、後ろのかべの線を見て演技をしました。そのおかげで失敗なしで演技ができました。

「ライオンキング」

六年 市川 恋次

当日の朝「もう最後の学芸会かあ」と思った。先生に目の周りに色をぬられてはずかしかった。でも劇が終わると、石川先生が「すごかった」と言ってくれた。歌もいつもよりがんばれて、いい感じで終われてよかった。



「仲間とのハーモニー」

保護者 大山 あいか

体を揺らし、口をしつかりと開いて、堂々と歌う娘。恵田つ子ハーモニーで娘の姿を見て、心が震えた。それは、紛れもなく、同じステージに立つ学年を越えた仲間に、支えられているからだ。感謝の気持ちでいっぱいになった。ありがとうございました。

「みんなすこいね」

保護者 飯塚 浩子

限られた人数でそれぞれの学年で工夫を凝らした劇が完成していました。一年生のハプニングはほほ笑ましく、六年生のライオンキングは勇ましく、恵田つ子ハーモニーは元気いっぱい。すばらしい時間をありがとうございました。

修学旅行 (11月5~6日)

「修学旅行」

六年 大橋 拓弥

平等院は、十円玉の絵と同じで左右対称できれいでした。奈良公園はシカに追われて少しこわかったけど、シカせんべいをバリバリ食べていておもしろかったです。友達とたくさん思い出を作ることができました。



マラソン大会 (12月11日)

「くやしかったマラソン大会」

三年 佐藤 叶夢

ぼくは、一位を取るために家でもマラソン大会の練習をしてきました。スタートはともきんちようしたけど、思いきり走りました。でも、ゴールしたときに二位だったのですごくくやしかったです。来年は一位を取りたいです。

「ラストスパート」

保護者 石川 拓也

マラソン大会。去年より速く走りたい。そんな目標をもちスタートする。折返してトラックに入りラストスパート。全力を出し切った子どもたちに感動させられた。今晚は思い切りほめながらストレッツしてやりたい。

